

発行: JVCシニアクラブ  
会長: 菅沼 喜久次

## ■ご挨拶

4月後半、新緑の候とはいえ東京では41年ぶりに季節外れの雪に見舞われましたが、皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

新政権への大きな期待を担ってスタートした鳩山内閣の現在の迷走ぶりには、ほとんど嫌気をさしている方が多いのではないのでしょうか。郵政改革、子供手当支給には多くの異論がありながらも断行し、その一方で政治とカネの問題にけじめをつけず、普天間移設の決着は全く混沌とした状態となっています。

日本は二大政党政治に向かうかと考えられていましたが、野党としての自民党も政府を鋭く追及することが出来ず、第三極となる新党の発足ブームとなっています。日本の将来がどうなるのか心配する方も多いかと思います。

ところで、あるメディアの調査では日本は「世界に良い影響を与えている国」で2番目との結果を得ました。

例年この調査で日本は高順位を保っています。私たちそれぞれがしっかりとした自覚を持って前向きに行動していくことが大切でしょう。

## ■国会見学会と懇親・懇親会を開催しました

4月8日(木)、42人の参加者を得て国会見学会(参議院)を開催しました。今回は議事堂内の見学だけではなく、津田やたろう参議院議員が委員として出席している「厚生労働委員会」の傍聴も行なうことができました。委員会は国会本会議に上程される各種の法案をそれぞれの立場で審議するところであり、いわば立法府としての議員と行政側(こちらも大臣・政務官などの議員)との生のやり取りを聴くことができます。

この会場への一般者の入場には、持ち込み可能な所持品の制限を含めて成田空港よりも更に一段と厳しい検査を経る必要がありました。

当日の委員会は4時間を越える長丁場でしたが、私たちの傍聴は20分程度と限られた時間です。その場では具体的な内容について理解するには短い時間でしたが、答弁する行政側のしっかりとした対応を感じました。

委員会を終了した津田議員から時局講演を頂き、その委員会の内容について説明がありました。このあと、会場を移した交流会で会員相互の懇親を深めました。



議事堂正面で記念撮影

